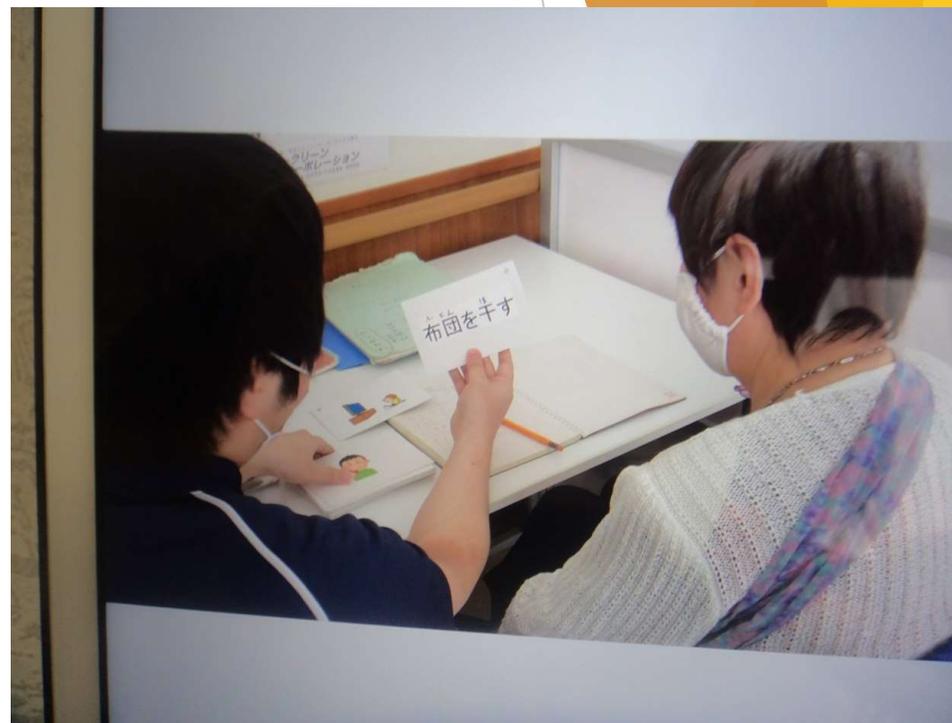


老健なかだ
言語・摂食嚥下
リハビリの紹介

失語症のリハビリの様子①

ご利用者様の言語機能のアセスメントを行います。個々の方に応じた機能訓練を提供致します。

画像は話す訓練を行っている様子です。短い文章をセラピストと一緒に読んで頂いております。



失語症のリハビリの様子②

こちらは、周波数調整期を用いて、言葉の自然なリズムを繰り返しながら、話す練習をしているところです。

老健なかだでは、適応がある方へは画像のようにリズムやイントネーションを重視した言語訓練に取り組んで頂いております。



老健なかだの言語聴覚士は どんな事をしているのでしょうか？

- ▶ **コミュニケーションや食べる障害に対応**
- ▶ 脳卒中後の言語障害(失語症、構音障害)や、声や発音の障害など、ことばによるコミュニケーションの問題は多岐にわたります。
- ▶ 言語聴覚士はこうした問題の本質や発現メカニズムを明らかにし、**対処法を見出すために**検査・評価を実施。必要に応じて**訓練、指導、助言**、その他の援助を行う専門職です。

日本言語聴覚士協会HPより改変



摂食・嚥下機能の アセスメント

「ムセる」「喉につかえる」といった食事への問題がある方へアセスメントをしている場面です。

口腔の機能や喉の動きを確認します。結果に基づいて、その方に合ったお食事形態や機能訓練の方法を検討致します。

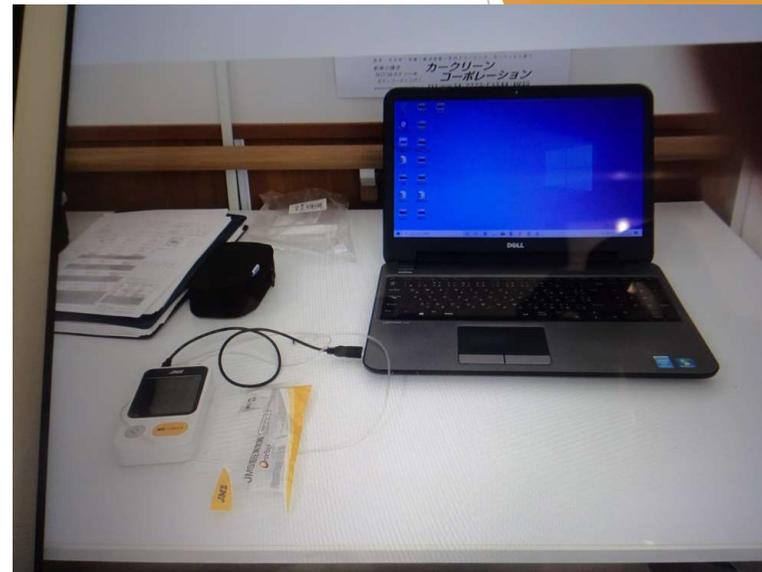


摂食嚥下機能の評価 舌圧の測定

嚥下評価の中には「舌圧の測定」も実施しております。

これは、咀嚼や嚥下にとって重要な舌を上へ押し上げる力を測定するものです。

結果は、パソコンの画面にグラフで表示されご利用者様と一緒に確認致します。



摂食嚥下機能の訓練 舌圧の訓練

舌圧の低下が見られた方へは、「**ペコパンダ**」という訓練器具を用いて訓練を行います。

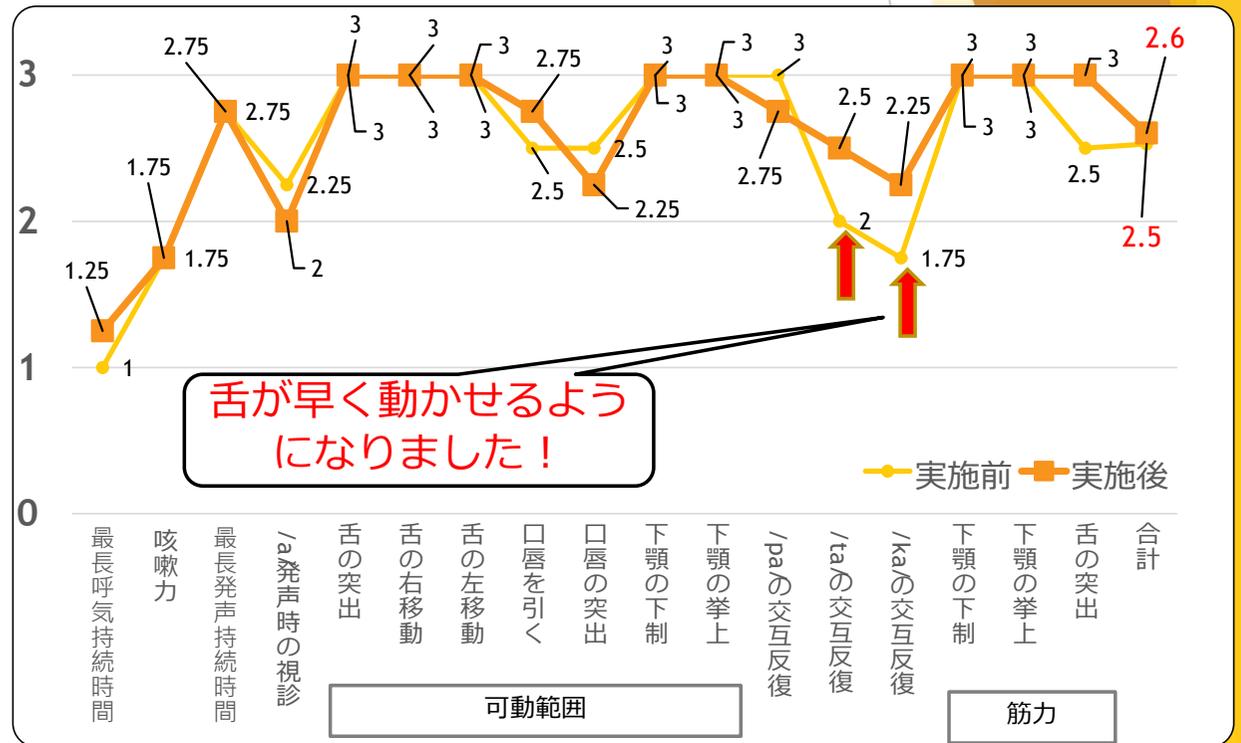
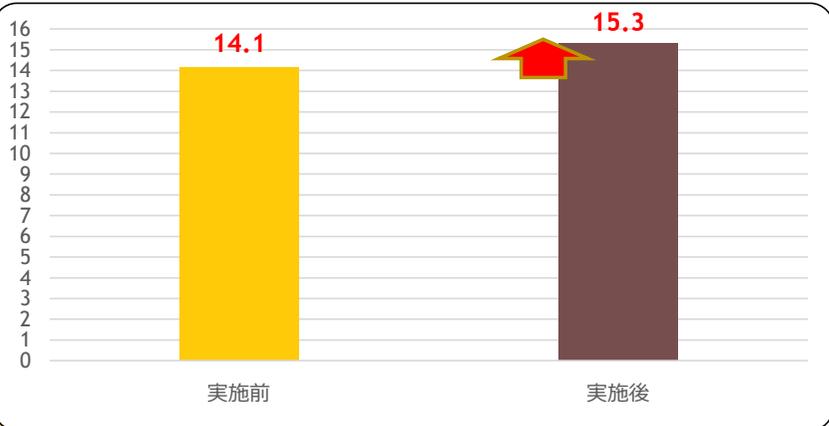


摂食嚥下機能の訓練 舌圧の訓練

令和2年度に咀嚼や嚥下に課題を有する4名のご利用者様を対象に、舌圧の測定・訓練を2カ月間実施し前後の変化を測定致しました。結果『舌を上へ押し上げる力の向上』が確認できました。参加された方は現在も美味しくお食事を召し上がれる事を目標に、定期的なアセスメントを受けつつ、口腔嚥下リハビリに取り組んで頂いております。



舌の力が強くなりました！



ご家庭でのトロミ量や食事についての アドバイスも随時行っています

病院では、嚥下食が提供されていたようだけど、
自宅ではどんな料理を準備すればいいの？

水やお茶でムセる事が多く、トロミをつけた方が良いと聞いたけど、。。
どの位の量を目安にトロミ剤を使えばいいの？

食事の時にどんな事に気を付ければいいのかろう？

このような疑問にアセスメントに基づいて情報提供しております。